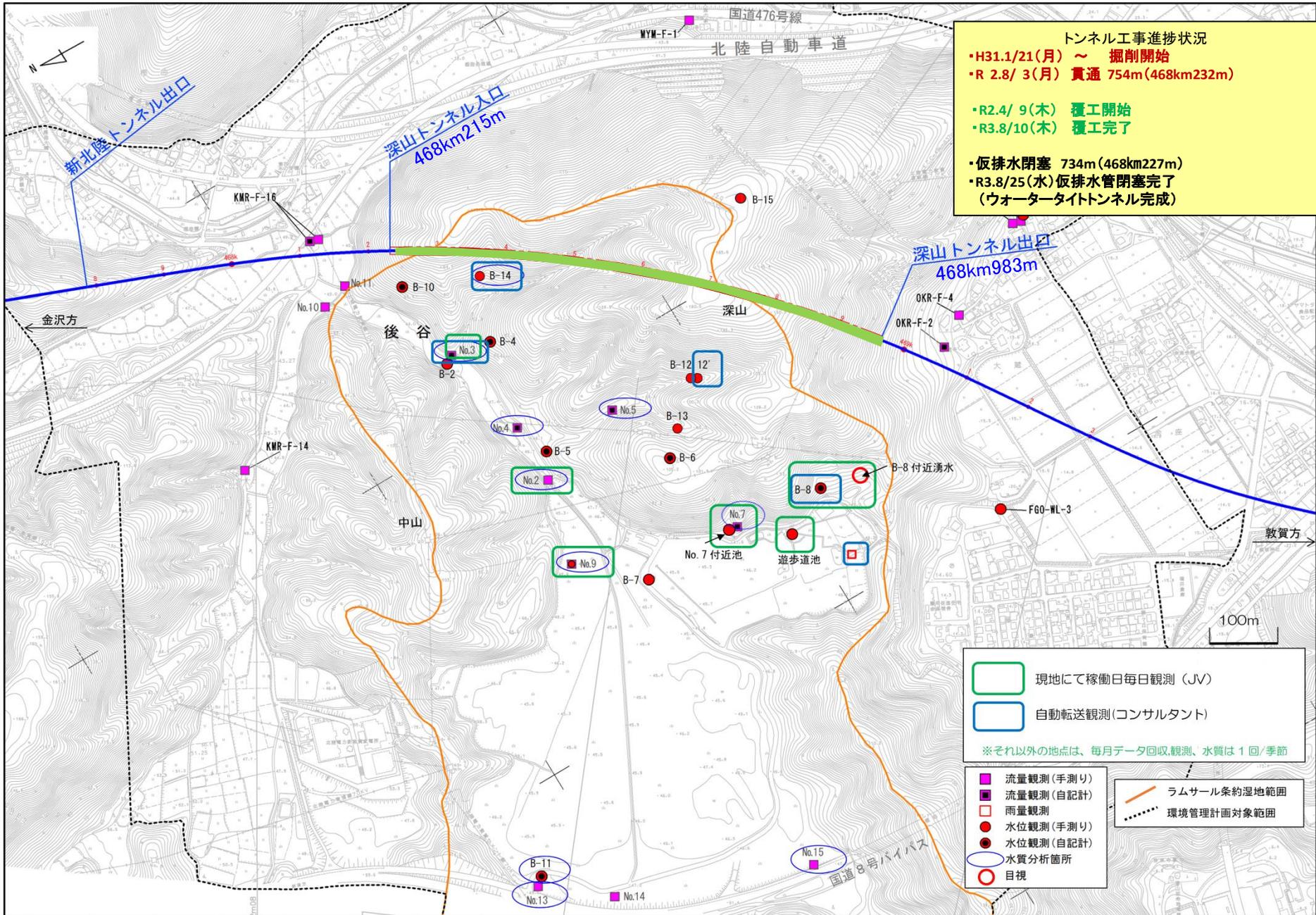


深山トンネル水文調査モニタリング報告書

調査期間：令和3年9月1日（水）～令和3年9月30日（木）

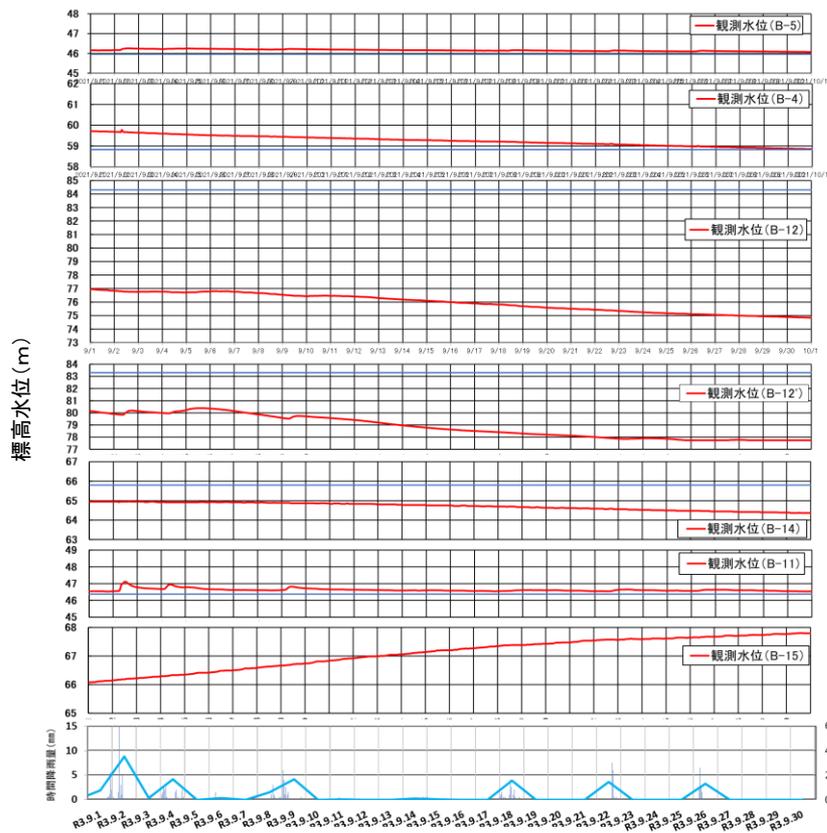
「北陸新幹線、中池見湿地付近深山トンネル等工事に係る環境管理計画」に基づき実施している水文環境モニタリング結果について報告する。



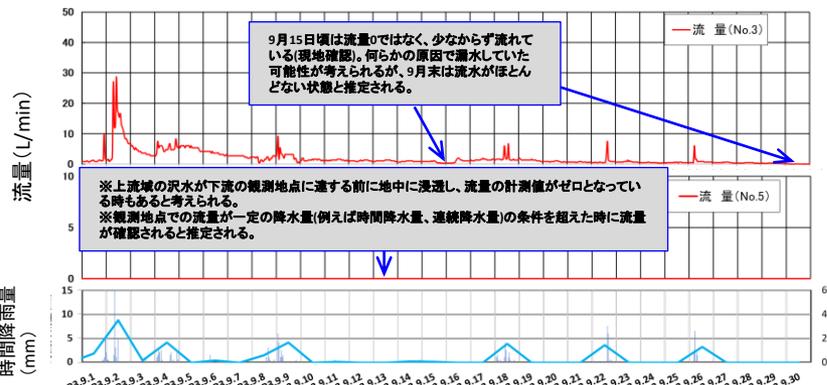
水文環境モニタリング観測地点図

※主要箇所のみ抜粋

地下水位観測結果図(自記記録)



流量観測結果図(自記記録)



B-5 地下水位
過年度最低水位
46.0m

B-4 地下水位
過年度最低水位
58.8m

B-12 地下水位
過年度最低水位
84.3m

B-12' 地下水位
過年度最低水位
83.3m

B-14 地下水位
過年度最低水位
65.8m

B-11 地下水位
過年度最低水位
46.36m

B-15 地下水位

雨量

No.3 流量

No.5 流量

雨量

全体総括

- 目立った変動なし ■やや変動あり
- 変動あり(注意体制への移行を検討)
- 期間中の地下水位低下量
 - 1m未満ないし増加:下記以外すべて
 - 2m未満 ■5m未満: B-12, B-12' □5m以上
- 期間中の流量低下量
 - 50ℓ/分未満ないし増加:すべて □50ℓ/分以上
- 期間中のpH変動量
 - 0.5未満: B-8, B-12 □0.5以上 □1以上
- 日降水量
 - 15mm未満 ■15mm以上(4日) □50mm以上
- 月降水量
 - 80mm未満 □80mm以上 ■130mm以上 □200mm以上

概要

- 水位変動について
 - ①やや変動あり。
 - ②B-4(自記水位計):期間中の降水に明瞭な反応を示さない。水位は期間を通して、緩やかな低下傾向を示し期間末は過年度最低水位付近となる。
 - ③B-5(自記水位計):期間中の降水に明瞭な反応を示さない。水位は期間を通して標高46.1～46.2m付近である。
 - ④B-12(自記水位計):水位は期間を通して緩やかな低下傾向である。引き続き過年度最低値を下回っている。今後も注視していく。
 - ⑤B-12'(自動転送):期間中の降水に反応を示し、降水直後は水位がわずかに上昇する。水位は期間を通して低下傾向を示す。引き続き過年度最低値を下回っている。今後も注視していく。
 - ⑥B-14(自動転送):期間の降水に明瞭な反応を示さない。水位は期間を通して緩やかな低下傾向を示す。引き続き過年度最低値を下回っている。今後も注視していく。
 - ⑦B-15(自記水位計):期間中の降水に明瞭な反応を示さない。期間中を通して水位は上昇傾向を示し、期間末では水位標高67.8mとなる。
 - ⑧No.3(自動転送):期間中の降水で流量が一時的に増加したがそれ以降は減少傾向である。
 - ⑬No.5(自記):期間内は流量0となる。
 - ⇒少雨や大雨の数日後の状況として、当該上流域の沢水が下流の観測地点に達する前に地中に浸透することにより流量の計測値がゼロとなっている状況がある。
 - ⇒観測地点での流量が一定の降水量(例えば時間降水量、連続降水量)の条件を超えた時に流量が確認されると推定される。

■降水量について

- ①日最大降水量:9/2の34.5mmである。
- ⇒8月の日最大降水量は63.5mmであった。
- ②月の降水量:132.0mmである。
- ⇒8月の月降水量は269.0mmであった。